



MEL ニュース

(2018年4月創刊号)

(一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会
事務局

世界が目まぐるしく動く中、新年度が始まりました。

皆様には、新たな気持ちでスタートされたことと拝察申し上げます。

MELも一般社団法人として発足してから1年5か月目に入りました。この間、皆様のご支援をいただき多方面の活動を進めて参りましたが、内部固めの段階から漸く次のステップである国際標準化の入口となるGSSIへの承認申請準備までたどり着くことが出来ました。

活動状況は逐次ホームページに掲載しておりますが、今月から「MELニュース」として毎月皆様にトピックスをお届けすることにいたします。皆様の更なるご指導とご支援を賜れば誠に幸いです。

1. MEL 認証規格の発効について

- ①MEL 漁業認証規格 (Ver.2.0)、流通加工段階認証規格 (CoC、Ver.2.0) が2018年2月1日に発効しました。
- ②MEL 養殖認証規格 (Ver.1.0) が2018年3月9日に発効しました。
- ③認証規格はホームページに掲載しております。

2. MEL と認証機関のとの間の覚書締結について

MELは認証機関として(公財)日本水産資源保護協会(略称:日水資)を指名していますが、2018年1月31日付で業務に関する覚書を締結し、「認証機関への要求事項」(漁業:2017年10月3日理事会で決議、流通加工:同じく2017年10月3日理事会で決議、養殖:2018年3月9日理事会で決議、何れもホームページに掲載)に基づいて、日水資が定める「審査業務規則」に則り審査を行う体制を確立しました。その上で、GSSI承認申請に必要な実地審査の準備を進めているところです。

認証機関につきましては、公平性、透明性の観点から現在の日水資を含め複数体制とすることを検討しており、本年度下期には具体化をしたいと考えています。

3. MEL と AEL の統合について

MELは、既に養殖認証を行っているAELのスキームオーナーである(一社)日本育者協会との間で、将来的に双方が運営するスキームをMELに統合することで合意し、2018年3月16日ホームページ上に公開しました。

出来る限り早期に共同記者会見を行い、取り決めの詳細を説明する予定です。



AEL 養殖認証取得者（35 件）は認証の有効期間（認証取得から 5 年間）は AEL の認証ロゴマークの使用を継続することが出来ますが（AEL は 2020 東京オリンピック、パラリンピックの食材調達基準に認められている）、MEL スキームが定める規定に従って審査を受け合格したら

（AEL のロゴマーク） MEL に移行することが可能になります。

また、今後 MEL が開催する各種説明会、セミナー等に AEL の認証取得者あるいは取得希望者を招くことを考えています。

4. MEL の旧認証規格による審査の継続について

2020 東京オリンピック、パラリンピック開会まで 2 年余りとなり生産者、流通加工事業者の間で認証取得への関心が高まっており、申請が続いています。

MEL の新認証規格（漁業:Ver.2.0、流通加工:Ver.2.0、養殖:Ver.1.0）は既に発効していますが、審査機関である日水資の新規格による審査体制が整っていない（日水資も国際標準化の認定を求められており、（公財）日本適合性認定協会（略称:JAB）の認定取得を準備中であることと、認定審査員に対する新規格のトレーニングが出来ていない）状況にあり、取り敢えず急ぎ取得したい申請者については、旧規格（漁業:Ver.1.0、流通加工:Ver.1.0）で認証審査を行うという苦肉の対応を取らざるを得ない状態になっています。

この結果、2018 年 1 月 1 日に 28 件であった漁業認証は、2018 年 3 月 31 日現在 44 件まで急増しています。（MEL と日水資のホームページに公開）

新規格による認証審査受け付けは、GSSI の審査状況の目途が立ち、かつ日水資の審査体制が整う今秋（11 月頃を想定）しており、当面この様な変則な状態が続くこととなります。

来春を想定する MEL の GSSI の承認取得後は、順次新規格で更新審査を受けていただくこととなります。

5. JAB のプレスリリースについて

前記の（公財）日本適合性認定協会（JAB: MEL の審査機関である日水資が認定取得の取り組み中）は 2018 年 3 月 29 日付で水産エコラベルの認定プログラム開始をプレスリリースしました。養殖認証について 3 月 30 日の技術委員会の決議、パブリックコメントを経て先行している漁業認証、流通加工段階認証に追い付き認定申請可能な状態になります。

JAB は IAF (International Accreditation Forum) 加盟の海外認定機関と相互承認をしており、日水資の JAB による認定取得は、MEL の GSSI の承認取得と共に MEL スキームの国際標準化を担保する重要な要件となります。

2018年3月29日

公益財団法人 日本適合性認定協会

【プレスリリース】

新たに養殖業を加え、5月スタート 国産を世界の市場へ 日本発の水産エコラベル 認定プログラム開始 水産資源の持続可能な管理を

マネジメントシステムをはじめとした総合認定機関の公益財団法人日本適合性認定協会(略称:JAB、所在地:東京都品川区、理事長:飯塚悦功)は、日本発の水産エコラベルの認証機関の認定プログラムを2018年1月30日に開始しました。そして、2018年5月初旬に、先行していた漁業認証の認定に、養殖業認証が加わります。

JABのプレスリリースにより、MELは日本の社会で自他ともに「日本発の世界に通用する水産エコラベル」として期待されることになり、その期待に応えるべく事務局一同心を引き締めて取り組んで参ります。どうかよろしくお願ひします。

以上

お問い合わせ先：

(一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13

三会堂ビル B1F

TEL : 03-5545-3315 FAX : 03-5545-3316

Email : info@melj.jp